

うたしない

市議会だより

第45号

歌志内市議会

議会報編集委員会

発行年月日 平成29年2月1日



行政常任委員会で中学校を視察

議会の動き

定例会の開催

12月13日から15日までの3日間定例会が開催されました。13日は、決算審査特別委員会に付託されていた報告11件、議案11件、諮問1件が審議されました。一般質問は14日4名、15日2名が行い、その後、意見書案9件が審議され閉会しました。

【決算審査特別委員会報告】

委員長 本田 加津子

平成28年第3回定例会で決算審査特別委員会に付託し、閉会中の継続審査となっていた平成27年度決算に係る議案の審査結果について、12月13日の本会議で委員長より報告があり、議案第52号は賛成多数、議案第53号は全員一致で認定されました。

●付託議案

▽議案第52号 平成27年度 歌志内市各会計歳入歳出決算の認定について

▽議案第53号 平成27年度 歌志内市病院事業会計決算の認定について

(平成28年9月7日付託)

●審査日程

▽11月14日(1日目)

・消防本部・教育委員会・建設課・産業課・議会事務局

▽11月15日(2日目)

・市立病院・市民課・企画財政課・総務課

▽11月16日(3日目)

・選挙管理委員会
・会計室・監査委員事務局・保健福祉課

平成28年 第4回定例会 12月開催

もくじ

- 議会の動き …… 1 P
- 決算審査特別委員会 …… 1 P
- 一般質問 …… 2～4 P
- 行政常任委員会報告 …… 4 P
- 可決された意見書 …… 4 P



めぐみ さとし

一 高齢者に対する 移動支援について

最近高齢者による車の事故が多く報道されています。

高齢者が運転を止められな理由の一つに、車で移動しなければ生活が困難なままとなっていることが考えられます。

高齢者が車を運転することが悪いこととは思いません。

しかし、生活のために買い物や通院で危険を伴うのであれば、高齢者を安全に守る立場から、移動対策への支援を考えて頂きたいと思えます。

また、もうすでに車の運転をしていない方や、元々運転をしていない高齢者の方々に対しても同じ配慮が必要だと思えます。

質 運転免許証を返納した方に対し年間のバスもしくはタクシーの無料定期券を発行してはどうか。

答 空知管内では、免許証自主返納高齢者に対して、雨竜町では、1回限りの商品券の交付、北竜町は、有効期限3年間の打ち切りタクシー券補

助の支援を行っている。

その他の市町においては、12往復無料バス券交付、バス乗車敬老パス、敬老ハイヤー券の交付を行っている自治体があるが、一定年齢以上の高齢者に対する施策であり、免許証自主返納に特化したものではない。質問の施策は、交通手段の確保や高齢者などの総合的な対策として検討すべきと考える。

二 8月20日の災害における 市以外の管轄工事の状況について

質 河川・道路・治山等の災害被害があつた箇所、現在工事を行っている箇所と今後の工事状況を伺いたい。

答 河川災害復旧工事について公共土木施設災害として申請を行った9か所は年度内に着手予定。道路復旧は砂川歌志内線の法面工事は次年度以降、焼山線は1月下旬に仮開通予定。治山復旧工事は文珠・本町の2か所が応急工事実施済みで、年度内に文珠2か所、本町1か所が実施予定。

神楽岡の法面崩壊と西歌団地斜面崩壊は現在測量調査等を実施しているが、復旧時期は未定。



下山 則義

一 市政を進める基本姿勢について

質 市長に初当選され、4年が終了した今、その内容をどのように分析・評価しているのか伺いたい。

答 一期目の4年間、市民が安心して暮らすことのできる環境づくり、地域経済の再生、財政健全化を目指して行政運営を進めてきた。また、各種基金の積み増しもしており、市民の皆様へのお約束は概ね果たせたと思っている。

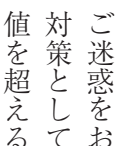
質 その内容を二期目にどう活かす考えなのか伺いたい。

答 策定された総合計画を基に、前期4年間に集中してまちづくりを進める必要を考えている。基金の活用を含め慎重に計画を進める。

二 市長の決意について

質 災害に強いまちづくりに必要な公共事業を進めるとのことであるが、その内容は。

答 温暖化等の気候変動により、これまでの想定を超える集中豪雨が発生し、ペンケ歌志内川の氾濫や土石流により、市民の皆様に変なご苦労と



酒井 雅勝

ご迷惑をおかけした。今後の対策として、これまでの経験値を超える事態を予期しながら、再考を行う必要性が生じ、このことを踏まえ、災害に強いまちづくりを進めるために北海道に要請する箇所と市が整備する箇所を計画的に公共事業として実施する。

質 安定的・持続可能な行政運営を進めるとのことであるが、焼山線の代替バスの運行をどう考えているのか。

答 焼山線の経常収支不足額は、当市と砂川市が負担しており、このままではあと2年程度で基金が枯渇し、現在のような予算編成が困難になる非常に厳しい状況となるため、焼山線のあり方について検討が必要であり、今後、砂川市、北海道中央バスと協議し、何らかの見直しが必要と考えている。

質 新教育長として、今後3年間どのような方針のもとに教育行政を進めていくのか。

答 総合計画に基づき、幼児教育、学校教育、社会教育の推進、芸術・文化・スポーツの振興のため全力で邁進して参る。

三 教育長の決意について

質 以前にも各議員が質問していると思うが、本町郵便局向かいの崩壊しそうな建物は、市として対策、手立てはないのか。

答 空家等対策の推進に関する特別措置法が施行され、当市においても、この特別措置法の規定による空家等の該当となる前に適正な管理を促す条例として歌志内市建築物の適正管理に関する条例を施行し、解体に関する助成を行っている。



酒井 雅勝

解体助成金も50万円を上限に増額するなど、空家等の対策に力を注いでいる。

今後、空家等は増加することが懸念されるが、空家等であっても財産権が存在しているため、その取り扱いには、慎重を要することになる。このため行政代執行法による解体をはじめとする行政代執行については必要以上に行うことは望ましくないと判断している。

また、空家等の中でも、法人が所有しているものについ

一般質問



ては、民法に規定する根抵当権が設定されているものがほとんどであり、抵当権の解除がなければ、原則、事務管理による応急対策も困難なものとなる。これまでも空家等の所有者の意向を確認し、特別措置法第12条に規定する情報の提供、助言、その他必要な援助を行っており、このことにより根抵当権の解除を行い前向きな対応ができる段階になったものもある。

今後もし引き続き危険家屋に對して、日常的にパトロールを行い、各法規の規定に沿い、対応を行っていく所存である。

二 認定こども園建設予定地のグラウンドについて

質 建設予定地の空いたグラウンドの今後の使用予定等の構想はあるのか。

答 今後は、子育て・教育及び教育環境、さらには遊び場の整備など、子どもの成長にとって必要な要件を充実するために活用することとしており、この地域に、文教施設の集約を図ることとしている。



山崎 瑞紀

一 安心して快適に暮らせるまちについて

本町地区に安心して健康で明るい日常生活を営むことができる環境と福祉の増進を図ることを目的とした高齢者専用住宅が完成しました。収入基準を満たした65歳以上の自立した生活のできる世帯を対象とした専用住宅で、低廉家賃・無落雪など高齢者にとって魅力的な住宅と考えます。

質 内覧会を行いましたが出た意見などを伺います。

答 参加された世帯数は辞退された方を含む4世帯とその他家族9人で、特に意見はなく、入居に向けた設備などの取り扱いは質疑が主であった。

質 今回は本町地区に高齢者専用住宅を建設したが、今後高齢者専用住宅を建設する予定はあるのか。

答 住宅政策だけでなく、歌志内市全体をどうするのか、市民が何を求めているのかなど戦略的なマーケティングを行う必要があり、その方向性が示された段階で検討を要するものと判断している。

二 定住対策について

質 高齢者専用住宅の完成に伴って、今後、子育て世代や若者世代にも高齢者専用住宅のような低廉家賃の住宅が当市の定住対策においては必要不可欠と考えるが如何か。

答 市内の居住区分は全世帯の約半数が市営住宅に入居している状況。政策的に空戸と申込者の生活スタイルなどを窓口において適時確認を行い、安心して生活を送れる環境の提供に心がけている。

このため、特定住宅に対する空戸がない場合においても類似の住宅を案内することで対応可能なものと判断している。

子育て世代及び若者世代に向けた公設住宅の建設などは、戦略的なマーケティングの中で方向性を検討する必要性があり、市民がハード面の整備を求めているのか、既存の住宅で対応は問題ないがソフト面の充実を求めているのかを見極めなければならぬため、今後において、関係機関との調整を含めながら検討していきたい。



本田 加津子

一 高齢者にやさしいまちづくりについて

質 食の自立支援事業の利用状況は。

答 65歳以上の一人暮らし及び高齢者世帯で身体の虚弱等を対象に、食生活の改善と安否確認を主な目的として行っており、10月末現在33名の方が利用している。

質 緊急通報電話設置サービスの設置件数は。

答 一人暮らしの高齢者宅に設置し、急病その他の緊急時における救護体制をとることによって生活不安の解消及び人命の安全性確保を目的に実施しており、12月1日現在の設置状況については、シルバークロッシング及び一般住宅の合わせて52台設置している。

質 新築された高齢者専用住宅への緊急通報電話の設置はどのようにしているのか。

答 装置は整備しているが、固定回線は入居者が用意して契約してもらうことになる。このことから、契約については、任意契約としている。

質 外出支援サービス利用状況は。

答 概ね65歳以上の方で構成される世帯に属する要介護3から5の認定を受けている方、若しくはその状態に該当する一般の交通機関を利用することが困難な方に対し、年間1万円を上限として、タクシー券を交付しており、11月末現在の申請者は65名となっている。

質 買い物支援について、今後どのような支援を実施するか。

答 買い物等の現状としては、市内商店からの配達や移動販売車の利用のほか、家族や地域の支え合いにより必要な商品を購入している状況であると認識している。

なお、これらの支援策については、高齢化、人口減少など、社会的な問題として受け止めているが、これは行政のみならず商工会議所、地域住民を交え、様々な観点から取り組まなければならない重要な課題であると考えている。





湯浅 礼子

一 子育て支援の充実について

質 子どもを産み育てやすい社会を実現するには、妊娠から出産、子育て期までの切れ目のない支援が重要です。当市の取り組みについて。

答 各種母子保健事業を実施している。妊娠期・出産期・子育て期で各種事業を実施しており、妊娠期から子育て期まで継続的な支援に取り組んでいる。

質 保健師による訪問支援の現状と取り組みについて

答 保健師の訪問支援としては、初妊婦と異常が予想される妊婦、精神科受診の既往などがあるハイリスク妊婦、全新生児と産婦に対し訪問を実施。母親の希望や必要に応じ、随時訪問も実施している。

質 当市の児童相談所での児童虐待相談対応数は。

答 本年度は現在のところないが、平成27年度は2件。

二 食品ロスへの取り組みとフードバンクについて

質 食品ロス削減のための啓発と市民と事業者が一体とな

った取り組みを進めるべきと思うが如何か。

答 食品ロス削減は、生活者一人一人が自ら意識し行動するものであり、「もったいない」意識の醸成が重要。北海道の要請により、忘年会等の宴席シーズンを迎え、外食時の「おいしい食べきり」全国共同キャンペーンで「おいしく残さず食べきろう」を周知するため、飲食店にパンフレットによる協力依頼を行った。

三 防災士の育成について

質 防災士資格取得の助成制度を設ける考えはあるか。

答 防災士になるためには、日本防災士機構が認証した講座を受講し、資格取得試験を受験、救急救命講習の受講を実施した後、同機構に登録することになる。一般の方が防災士になるまでには、交通費は別として約6万円（学生は約3万4千円）程度かかる。

一方、北海道が実施している「地域防災マスター制度」は、1日間の講習の受講により認定され、受講料も無料。当面は「地域防災マスター制度」の研修会の周知及び研修会開催場所への市公用車利用を検討したい。

行政常任委員会報告

委員長 女鹿 聡

▽11月1日

●幼稚園の管理運営状況について（現地視察含む）

●小学校の管理運営状況について（現地視察含む）

●中学校の管理運営状況について（現地視察含む）

●給食センターの管理運営状況について（現地視察含む）

●保育所の運営状況について（現地視察含む）

●認定こども園の進捗状況について

▽11月28日

●高齢者専用住宅新築工事の進捗状況について（現地視察含む）

●災害復旧工事の進捗状況について（現地視察含む）

●除排雪の計画について

●街路灯、防犯灯の管理状況について

●職員の研修及び福利厚生状況について

●職員の給与、定員管理の状況について

一部事務組合等議会

▽11月24日
石狩川流域下水道組合議会第

可決された意見書

●ヒートポンプ給湯器の低周波音による健康被害の対策向上に係る意見書

●ホームドアの設置と「内方線付き点状ブロック」の整備促進を求める意見書

●安心な社会保障と強い地域経済を構築するための地方財政措置を求める意見書

●「米政策改革」に対する稲作農家の不安を払拭し経営の安定と担い手経営の再生産の確保を求める意見書

●過労死防止の抜本対策と労働基準法「改正」に反対する意見書

●年金支給額抑制に反対し最低保障機能の拡充を求める意見書

●地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

●国による子ども医療費無料制度の創設を求める意見書

●「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書

※これら9件の意見書は12月15日に議決し、内閣総理大臣、各関係大臣、衆・参議院議長、その他関係機関へ送付されました。

2 回定例会 谷議員
中空知広域市町村圏組合議会 川野議長
第2 回定例会 山崎議員

2 回定例会 湯浅議員
中空知教育センター組合議会第2 回定例会

▽11月29日
中空知広域水道企業団議会第2 回定例会 川野議長

中・北空知廃棄物処理広域連合議会第2 回定例会 川野議長

川野議長

編集後記

平成25年度から実施している議会報告会ですが、今年度については、市議会議員補欠選挙などで日程調整がつかなくため、実施しないこととさせて頂きま

すのでご了承願います。
編集長 めが